

# 天沼小だより

文責

校長 大里 忠弘



## 全国学力・学習状況調査の結果から

5月27日(木)に全国の6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果についての分析データが届きました。全国や群馬県と比較しての本校の特徴的な傾向についてお知らせします。

### ○国語の状況

本校児童による正答率が、全国の平均と比較して上回る設問が14問中7問ありました。中でも、「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」設問の正答率は全国平均を大きく上回っていました。また、「漢字を文の中で正しく使う」設問が3問出題されましたが全問、全国並びに群馬県の正答率平均を上回りました。「文中における主語と述語の関係を捉える」設問の正答率も全国平均を上回りました。

一方、正答率が低い設問を挙げますと、「目的に応じ、文章と図表を結びつけて必要な情報を見付ける」「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」「文中に資料を用いた目的を理解する」「目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える」といった設問です。

上記から言えることは、漢字を正しく使う、主語と述語の関係を捉えたり、自分の主張を明確に伝える力は育っているが、目的に応じて・・・といった状況に合わせて、知識・技能等を応用的に活用する力が弱いということです。

### ○算数の状況

算数全体として、本校児童による正答率はほぼ全国平均でした。全国の平均と比較して正答率の上回る設問が16問中6問、下回る設問が16問中10問です。正答率が低い設問の内容から、「三角形の面積の求め方」「示された除法(割り算)の結果について、日常生活の場面に即して判断する」「速さ・時間・道のりの関係を捉えて、求め方を式で表す問題」などに課題が見られます。

「測定」「データの活用」の2領域はほぼ全国平均並み、「数と計算」「図形」「変化と関係」の3領域の理解に課題があるという結果でした。

### ○生活面について(児童質問紙の解答結果から)

児童質問紙への回答状況を見ますと、「自分には、よいところがある」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」といった項目の得点が高く、自己肯定感をもって、前向きに生活している様子がうかがえます。

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」については、100%の児童が、当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えています。この設問については、全

国では当てはまらないと回答する児童が若干の割合でいます。

新型コロナウイルス感染症対策のための休校期間中、規則正しい生活を送っていたと答える児童が全国平均に比べて少なく、生活習慣が乱れてしまったことを自覚しているようです。

### ○学習面について（児童質問紙の解答結果から）

読書をする時間や新聞を読む割合が全国に比べて高い傾向です。「算数の勉強が好き」「算数の勉強は大切だと思う」の得点が全国比で若干低いのに対して、「国語の勉強が好き」「国語の勉強は大切だと思う」の得点は全国比で高いという結果も出ています。

臨時休校中の生活習慣の乱れを自覚している一方、休校期間中の勉強に不安を感じた児童は全国比で少なく、休校期間中は計画的に学習を続けることができたと答える児童の割合が全国平均よりも高いという結果でした。休校期間中に学習課題を多めに出したことで、時間を持て余すという状態ではなかったということでしょうか。

### 本校の学力向上の取組

以上の結果を踏まえながら、今年度、本校は次のように取り組んでいます。

◇基礎・基本の確実な定着とそのための学習習慣の形成を目指します。

国語・算数コンテストの取組を継続して「繰り返し学習」を行い、基礎・基本を確実にするとともに、「家庭学習がんばりカード」を活用して望ましい学習習慣を身につけることを目指します。

◇学力向上と学習生活の充実のための土台作りを大切にします。「天沼小学習のルール」「天沼小よい子の一日」を指導していきます。

◇毎日の授業の中で、日常生活と結びつけた活用について触れ、思考力や表現力を高めるよう授業の改善に努めます。

今年度の校内研修は、「主体的に学び合い、考えを広げ深めることができる児童の育成をめざして～はばたく群馬の指導プランの活用を通して～」をテーマに取り組んでいます。

全校をあげて、生活科・総合的な学習の時間の授業改善に力を入れています。総合的な学習の時間の目標は「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す教科です。各教科の学習で学んだ知識、身につけた技能を活用し、実社会や実生活の中から問いを見付け、その課題解決に向けての探究的な学習を積み上げる。そして、友だちと共に互いの良さを生かしながら積極的に社会に参画しようとする態度を養います。本校が今、総合的な学習の時間の授業改善に力を入れていることが、本校の児童の未来に役立つことを信じます。